

教育環境の整備

五感を刺激する 音楽ワークショップ



講師の先生と即興の演奏会

いわき市に仮設の園舎がある双葉町立ふたば幼稚園。「年少のうちから様々な経験をさせたい!」との園長先生からのご依頼により、たくさんの楽器に触れ演奏を楽しむ音楽ワークショップを開催しました。

民族楽器など珍しい楽器の数々に子どもたちは大興奮!即興の演奏会では子どもたちの個性が光ります。初めての音や物に触れ、自然と心が躍り出す素敵な経験となりました。

地域復興支援

県内外へ向けた情報発信のための 展示会を開催



12市町村の現状や取り組みを地域外の方へ広く知ってもらうため、11月23日から1月30日の約2か月間、西会津町の西会津国際芸術村で展示会を開催しました。展示会では12市町村のいまを記録した写真展示と、発災から現在に至る復興の変遷をたどるパネル展示を行いました。会津地方をはじめとした県内外の少しでも多くの方々に、この地域を身近に感じてもらい考えるきっかけにいただければ幸いです。

サテライトのご紹介

教育環境整備担当

教育現場のニーズに沿った企画をコーディネート

教育環境整備担当では、相双地域の子どもたちにどんな課題があり我々に何ができるのかを教育委員会や学校にヒヤリングを重ねています。体験学習をベースにアクティブラーニング・ICTも盛り込み、成功体験の積み重ねから自己肯定感を上げていけるような企画をコーディネートしてきました。これまでに約60回開催し、のべ1000人以上が参加しています。

我々の活動も6年目を迎え、教育委員会・学校への認知と信頼が深まり教育現場からの依頼が増えています。学校からの要望による新しい事業として今年度は「動画制作ワークショップ」「五感を刺激する音楽ワークショップ」などを開催しました。

サテライトでは今後も教育現場のニーズに沿った支援を続けて参ります。



「動画制作ワークショップ」
動画について学び地域の魅力を発信する

- NEWS - みずあおい

水葵

NEWS 1 水葵プロジェクト



撮影:吉田 重信 様

初秋に紫の可憐な花を咲かせる「水葵」。かつては水辺に多く見られた花でしたが、戦後、農薬の使用により数が激減、いま日本では準絶滅危惧種

に指定されています。ところが東日本大震災後、特に人の手が入らない津波の跡地で水葵の群生が確認されるようになりました。

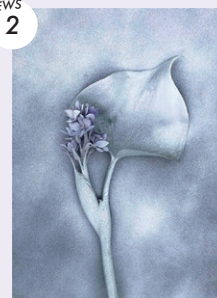
2014年に実際に水葵の群生を見た現代美術家の吉田重信さんは「この水葵はいずれ無くなるだろうと直感で分かった」と話されます。これから被災地の土地改良が始まれば、また水葵は消えると考えた吉田さんは、水葵を根ごと自宅へ持ち帰り栽培、観察し種を採取。翌年にその種をまくことで『水葵プロジェクト』を静かに始めました。

『震災を機に群生を始めた水葵を育てることで、震災を忘れないでほしい』『心ある仲間達と、活動を続けるこ

とによって震災を伝えていきたい』『震災の記憶と体験を水葵という花に託して繋げていきたい』という思いを持った水葵プロジェクト。現在では多くの人に賛同され、京都の下鴨神社、奈良の喜光寺、福井の藤島神社など全国に広がり、各地で水葵の花が咲いています。2021年は水葵に関心がある作家たちと共に福島市にあるGALLERY OFF GRIDで展覧会を開催し、これまでの『水葵プロジェクト2015-2021』の活動記録を展示しました。

「静かに少しずつ、息長くやりたい」という吉田さん。震災の記憶を、水葵が静かに伝えて続けています。

NEWS 2



渡邊晃一《華跡ーミズアオイー》2021年

福島大学(人間発達文化学類)渡邊晃一教授も水葵に注目されています。奄美大島やイギリスなど、様々な地域との関わりを「花」をテーマに作品にされていますが、水葵を福島の震災後の象徴として描いたと話されていました。

TOPICS | トピックス

飯舘村で、美味しい凍み餅を食べてみませんか

飯舘村では冬になると、凍み餅づくりが盛んになります。凍み餅とは、気温が氷点下になる日が続く寒冷地ならではの伝統保存食で、阿武隈高地でよく作られるものです。「いいたて村の道の駅までい館」でも販売されており、購入後は水に浸して戻し、好みの味付けを楽しみながら食べることができます。人の手によって心を込めて作られる凍み餅は、古くから村民に親しまれています。

凍み餅は、夏に収穫した「ごんぼっぱ」を茹でてアク抜きしたもの乾燥させ、もち米とうち米を粉にしたもので作ります。固まったら凍み豆腐のように藁で5〜6個ずつ連ねて編み、編んだ餅によく水を含ませ、一晚中外に下げて凍みさせた後、1か月ほどかけてじっくり乾燥させます。多くの時間と手間をかけて作られる分、愛情もたっぷりです。きなこやあんこ、砂糖醤油で食べることが定番です。

いいたて村の道の駅までい館内の直売所で購入することができます。ぜひお立ち寄りください!



福島大学公式マスコット
キャラクター めばえちゃん



～12市町村に、今ふく風をご紹介します～

広野町 Hirono town

「みかん狩り、
楽しかったよ!」



12月7日(火)、広野町役場の西側にある「みかんの丘」で、広野こども園児によるみかん狩りを行いました。3歳から5歳児約60人が参加し、青空の下でたわなに実ったみかんを一生懸命収穫しました。収穫後は、一列に腰を掛けてもぎ取ったばかりのみかんをお外で食べるなどみかん狩りを楽しみました。

檜葉町 Naraha town

伝統行事
「とり小屋」



檜葉町に伝わる「とり小屋」は、害鳥から田畑を守る「鳥追い」と正月飾りを燃やす「どんと焼き」がひとつになった正月の伝統行事です。地区によって箱型や円錐形など形が違うとり小屋を作り、その中に正月飾りや古い神札を納めて小屋を燃やします。また、とり小屋の火で焼いた餅を食べると、1年間無病息災で居られるという言い伝えがあります。震災で一時中断したものの、年を追うごとに少しずつ再開され、今年は1月8日・9日に7地区で行われました。

富岡町 Tomioka town

むかし・いま・
みらいをつなぐ



東日本大震災・原子力災害を富岡町の歴史の1ページに位置づけることを目指し、「これまで」と「これから」の富岡町を記録し続ける「とみおかアーカイブ・ミュージアム」。町を初めて訪れる人は地域の特徴と複合災害の現実を知り、町になじみのある人は懐かしさを感じられるミュージアムです。また資料の収蔵庫を見学でき、資料の整理方法などを学べるのも特徴のひとつ。お帰りの際には、ぜひメッセージキューブで今の自分の写真と想いを記録してください。

川内村 Kawauchi village

川内村の林業の
受け皿に



震災前から村の木材と関わりがあった遠野興産株式会社。震災により村の林業の流れも止まりましたが、再び村の林業に携わることとなりました。2021年11月に川内村に工場をオープン、村から切り出した木材のうち建築材以外の材を引き受け、これをチップなどに形を変えて商品化しています。「捨てるところのない有難い資源を扱わせてもらっています。真面目な川内村の人と共に、川内村の林業が復活するワンステップになれば」と代表取締役の中野さんは話されます。

大熊町 Okuma town

2年ぶりの開催!
「里がえりもちつき大会2022」



「延期」「中止」が続いていたイベントが、町内や避難先で徐々に復活しています。2022年1月9日(日)には、おおくまコミュニティづくり実行委員会主催の「里がえりもちつき2022」が大熊町役場前広場にて開催されました。約300人の方にご参加いただき、大盛況のうちに終了しました。

コロナ禍でのイベント開催は試行錯誤の連続ですが、ご参加いただいている皆さまの笑顔を見るたびに「人が集う」ことの尊さを再認識します。



「里がえりもちつき大会2022」の様子を記したブログはこちら

浪江町 Namie town

ラッキー公園、
オープン!



12月12日、道の駅なみえに「ラッキー公園 in なみえまち」が全国初となるオープンを迎えました。「ふくしま応援ポケモン」として福島県をPRしているラッキーをモチーフにした多彩な遊具が並び公園です。高さ約6メートルのラッキーの複合遊具が圧巻です! 大人から子どもまで多くの方の笑い声が溢れる公園に遊びにいてみよう!

葛尾村 Katsurao village

お試し住宅を
利用してみませんか?



山々にかこまれた小さな農村、葛尾村。
「静かな場所でゆったり暮らしたい、だけどまずは実際の暮らしを体験したい」そんな方は、葛尾村の『お試し住宅』を利用してみませんか? 村の一軒家に数日間滞在することで、移住の不安はワクワクに変わるはず! 四季の移ろいを肌で感じられる葛尾村で、お待ちしております。



お試し住宅について

▶葛尾むらづくり公社 TEL.0240-23-7767
▶k.muradukuri@katsurao-kosya.or.jp

田村市 Tamura city

ふるさとの味
「みやこじの里」



震災後いち早く試験栽培を行い、2015年から販売を始めた都路の日本酒「みやこじの里」。「都路の美味しい酒を味わってほしい」との純粋な思いを込め、認定農業者が丹精込めて作った主食用米「都路産チヨニシキ」を使用したお酒が今年も出来ました!

フルーティーで深い味わいの「みやこじの里」、今なら火入れ前の生酒も予約を受け付けております。お気軽にお問い合わせください。一口飲めば、懐かしい味がひろがります。

▶田村市都路行政局 産業建設係 TEL.0247-75-3550
※生酒の予約は3月1日までとなっております。

南相馬市 Minamisoma city

挑戦を受け入れ
挑戦で溢れるまち、おだか。



南相馬市では、移住検討者に向けた、遊ぶ広報「地域の魅力体験ツアー」を実施しています。このツアーは、現地ガイドが参加者の希望に応じてコースを設定し、南相馬市小高区をご案内します。小高区を盛り上げている起業家たち、地元住民との交流などが体験できる内容です。ぜひ一度、南相馬市を訪れてみませんか?



遊ぶ広報の詳細はこちら!



おだかる Instagram

▶南相馬市 小高区役所 地域振興課 おだかぐらし担当
▶TEL.0244-44-6716

飯舘村 Iitate village

この味この笑顔に
また会いたくなる



手打ちうどんの店「あびす庵」は、手打ちうどんも定食も、心に染みるようなやさしい味わい。たくさんの具材、丁寧な調理に、食べる人への思いやりを感じます。最近、「村の人はもちろん、遠方からのお客様も多くなりました」との事。大きな海老天2尾をフワフワな卵でとじた「あびす庵うどん」やボリューム満点の豚丼など、変わらぬおいしさをぜひご堪能ください。



地図

▶手打ちうどんの店 あびす庵 TEL.0244-43-2018
▶飯舘村飯舘字町374-1 定休日/毎週火曜日、年末年始
▶営業時間/11:00~15:00 (ラストオーダー14:30 夜は予約のみ)

川俣町 Kawamata town

宇宙を旅した
山木屋そば



『山木屋在来そば』をご存知でしょうか? 震災による避難でこの系統は一度途絶えましたが、震災後、保存していた原種4キロをまいて2020年に1トン収穫することに成功。翌2021年には収穫量が2トンを超えました。このソバの種9グラムは、去年の春に東北復興宇宙ミッションにて宇宙を旅し、その後山木屋中学校の生徒たちの手で大事に育てられています。山木屋の寒暖差の中で育ち、味が濃く香りが強いのが特徴。山木屋に大きな実りをもたらしています。